

## 松原自治会との連携による雪かきツアー募集について

観光協会では、「地域の困り事」を解決し、地域経済の浮揚につなげる新しい試みとして、松原自治会と協力して雪かきツアーを企画しました。中国新聞の記事と広島銀行の窓口でお客様にご紹介いただいた結果、募集開始1週間で30名近い応募をいただきました。

松原地区の方からは、「まさか集まるわけがないと思っていた。」「本当に集まるとは驚いた。」との声があがっています。地域の困りごとが商品としてツアーになり、地域の困りごとを解決する手段として少しずつ動き始めた気がします。

町外の反応は、テレビ局から3件と新聞社から2件の取材申し込みがありました。

「地域の困り事」を商品化し、経済効果と地域の問題解決に繋げようとする手法に関心が高まっているようです。

地域の素材は、「素晴らしい景観」だけではなく、最終的には教育旅行の体験プログラムの1つとして期待しています。



松原地区の昨年の様子

## 恐羅漢スノーパークでのイグルー作り



観光協会で試験的に作ったイグルー

安芸太田町ではスキー場以外での「雪」の積極的活用が無かったことから「雪かき体験」の他に「イグルー作り体験」を広島市内の無料情報誌と連携して2月4日の恐羅漢スノーパーク節分祭の一企画として開催することにしました。

その結果、なんと募集開始2週間で定員(20組)に達してしまいました。これもまた教育旅行の体験学習プログラムとして期待できます。

※イグルーとは北極圏で狩猟をする際の簡易住居です。氷や雪をブロックにして積み上げドーム型にします。製作に際してはチームワークがとて大切で。

## よしもと地元CMアイデアコンテスト

広報1月号で紹介した、よしもと地元CMアイデアコンテストで、恐羅漢スノーパーク社長川本泰生さんのアイデアが、見事広島県代表となったことをお伝えしましたが、今度は、47都道府県の代表がビデオレターを製作し、WEB投票上位の都道府県のアイデアがCM化されます。

先日、広島よしもと所属芸人・フリータイムと川本社長さんによるビデオレターのロケがありました。マイナス7℃、吹雪という厳しい環境の中、雪上車でスキー場最上部まで行きました。川本社長さんの歯切れのいいコメントとフリータイムの掛け合いがとても面白いビデオレターが完成しました。

何より、えっ広島に豪雪地帯があるの？パウダースノーのスキー場があるの？という「新鮮な驚き」を全国に発信したいと思います。

「Jimot CM COMPETITION プログラム 沖縄国際映画祭」  
ネットで検索！ 公開中



広島よしもと芸人フリータイムと川本社長(写真左)